

週間聖書勉強の学び

「わたしの助けはどこから」(詩編 121 編)

裴貞愛副牧師

詩編 120 編から 134 編までの 15 編すべての表題は「都に上る歌」であり、神殿巡礼時に用いられた。イスラエルの首都エルサレムに建てられた神殿は、主なる神のご臨在を象徴する場所である。イスラエルの成人男性は、エルサレムで祝われる三つの祭りに出ることが律法で定められていた(申命記 16:16)。旧約の選民イスラエルの民は、どんな場合でも神殿中心の信仰に生きる時、主の祝福と希望に生きる事ができた。

1. 助けは天地創造主から来る

121 編において、巡礼者は不安の中、助けを求めている。目を上げて山々を仰いで、わたしの助けはどこからくるのかと、尋ねている。そうして後、わたしの助けは、天地を造られた主のもとから来ると確信している。創造はすべての初めであり、被造物のすべては創造主の下にあると信じている。

2. 共同体を見守る方、歴史の主管者

イスラエルを見守る主は、まどろむことなく、眠ることもなく、歴史の中で生きておられ、すべての国家と民族の歴史を主管なさる方。イスラエルを見守る主は、あなた個人をも見守る方である。

その地方を徒歩で旅する者にとって 激しい陽射しは危険であった。また、古代の人々は月の光が病、特に精神的な病の原因になると信じていた。主は昼の太陽が、夜の月が撃つことがないように、あなたの右にいまして、あなたを覆う陰となって見守ってくださる。主はすべての災いを遠ざけ、あなたの魂を見守ってくださる。

3. 永遠なる主への信仰と確信

創造主であり、歴史の主管者である主は、イスラエルを見守り、選ばれた主の民をも、はじめから終わりまで永遠に見守ってくださる。聖なる祭りを祝うためにエルサレムに上ろうとする巡礼者を、主は見守ってくださった。仮住まいの旅人であるわたしたち、未来が予測できないコロナ禍の中にいるわたしたちをも、天の国に帰るまで、主はすべてを永遠に見守ってくださいます。

★ You are the salt of the earth. You are the light of the world! !

너희는 세상의 소금이니, 너희는 세상의 빛이라! (마태 5:13, 14)

最近のような霊的・肉体的に多くの危険がある時に、最も黙想したい 聖書の御言葉です。その言葉の中で一番思い出される方が イエス様以外に もう一人います。金君江勸士ニムです。いつも笑顔でいらっしやいましたが どこか分からない厳格さがあったので 近寄りにくい方だった勸士ニムが、シルバースクールを京都教会に始める時、一緒に仕えてみないかと声をかけてくださいました。その時から 神様が作ってくださった交際が始まったと思います。大阪教会ではシルバースクールがとてもうまくいって見学に行ったときにわかりました。京都教会にシルバースクールを建てるために ご自分の多くの時間とお金を捧げて健康でもない体を引っ張って長い間 大阪まで通っていらっしやったことを。そして 地域社会の伝道のために、多くのビジョンを持っていらっしやったことを。

地の果てまで私の証人になろう とおっしゃった イエス様の御言葉を実践するために、見えない所で そのように 光と塩の役割を果たしたのです。シルバースクールの野外学習があったある日、ご自分の畑にたくさんのお芋を植えて、みんなでサツマイモを採ったり 思う存分食べたりして、バーベキューを楽しんだことが思い出されます。林牧師ニムと何人かの方が 雑草を抜く専用の椅子を作って サツマイモ畑で雑草



を抜いて育てたという話を 後でお聞きしました。そのような見えない苦勞が まさに伝道のための光と塩の役割でしょう。私たちは、世界の人々のように 見えるものに価値を置いているのでは、クリスチャンとして 信仰の危険だと思います。聖霊様が与えてくださった 霊的な目を開いて、見えない所で 光と塩の役割を果たさなければならぬでしょう。勸士ニムが退院されて 家にいらっしやるということを聞いて とても会いたくて訪ねた時、特有の面白いお話もしてくださいましたが、最初から別れる時まで 主に感謝! 感謝すると ずっとおしゃってくださいました。すべてが神様に感謝ですと。シルバースクールに対する愛情もたくさん話してくださいました。その後、金君江勸士ニムをはじめ、シルバースクールを守って来られた 多くの信仰の先輩たちは、神様を知らない方々に 御言葉と賛美を伝える 伝道の使命を果たしている、まさに神様に喜ばれる 大きな光と塩の役割を されていると思います。

金君江勸士ニムの 一周忌追悼礼拝に参加した時、いつもの笑顔の写真を通して 再会いたしました。思いもよらない涙が ずっと出ましたね。今、天国で私たちを見守っていらっしやる あの方の教えと情熱が 思い出されたからです。説教をされていた牧師ニムも 喉がつかまって しばらく言葉を止められました。

金君江勸士ニムには またひとつの夢がありました。いつかは 韓国で 韓国人らしく 住んでみることでした。熱心に 韓国語も学んでいると おっしゃいました。韓国も愛された勸士ニムが 今はここにはいらっしやらないのですが、神様に対する愛と熱情が、私を含め 京都教会の皆さんの心には まだ生きておられると信じます。(金英兒)



★私は十年前に、自動車で夜の水曜礼拝に行く途中、事故に遭いました。電信柱に当たり、気絶しました。しばらくたって 気がついたら、周りにたくさんの方がいて、私を見て、「ああ生きています」と言って喜んでくれました。私は声が出ないので、「主よ助けて、主よ助けて」と心の中で二回叫びました。神様は耳を傾けて霊の息を吹き込まれたので、私は生き返り、声を出すことができました。主よ、私を助けてくださり 感謝します。みなさまにも感謝します。周りの人たちが、「早く教会に行きなさい、後の始末は私たちがする」と言ってくれました。礼拝が終わり外に出てみると、車はレッカー車で運んで教会のガレージに置いてありました。事故に遭ったところに行ってみると、きれいになっていました。本当にありがとうございます。すべて神様が憐れんでくださった、真実の愛です。

今この世界は、コロナでおびえています。人生の暗雲によって 神から離れていると感じるとき、私は確信をもって 聖書の中にある神さまの約束に目を向けます。イエスさまは「世の終わりまで私たちとともにいる」と約束しておられます。毎日聖書を読み 神のご臨在について 聖句を暗記し、その句があらわれるとき、コロナや自然災害があっても、聖書の約束を思い出することができます。みことばに しがみつくと、それは恐れ

から身を避け、信仰が成長する助けだと思います。

神様、いつも どんなときでも、主の名を呼び求めると、主は 答えてくださる。自分の信仰を失うことのないように守ってくださる神様に 栄光あれ。恵み深い神様、地域社会の中で人々に奉仕する道に気づくように 助けてください。

私は 4 年前 夫が召天してから、近所の公園の掃除をしています。子どもがたくさん遊びに来るので、公園がいつもきれいだと喜んでくれています。

そうしたら 市から表彰状もいただきました。私ができることを もっと他にも 人々に奉仕する道を 気づかせてください、と お願いしています。私の 1 タラントを用いてください、と。掃除をしていたら、体も健康になってきて 感謝です。

今のこのコロナは、私たちが試されている時だとも思います。このような中でも、やはり聖書、聖書です。家でも いつも聖書を読んでいます。

主御自身があなたに先立って行き、主御自身があなたと共におられる。主はあなたを見放すことも、見捨てられることもない。恐れてはならない。おののいてはならない。

(申命記 31:8) & 賛美歌 274 番 (李淑連・談)

♡ 4 号も発行できましたことを主に感謝しつつ...♡
引き続き原稿を募集します。教育部・康玲子まで。
メール(crystalsound106@gmail.com) / 教会あて TEL
(075-311-5051) / FAX(075-313-3778)、郵送など。

